

お知らせ

INFORMATION

No.2018-38

2018年12月

病体生理研究所

「抗MDA5抗体」検査内容の変更について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

さて、標記項目につきましては、皮膚筋炎の診断、疾患活動性や治療効果判定、再発の確認などにご利用いただいておりますが、この度、高値検体についても希釈再検により定量値を確認出来るよう検査内容を変更させていただきます。

これにより、従来 Index 値 150 以上の抗体価の場合、測定範囲外であったことから疾患活動性や治療効果の判定に用いることが出来ませんでした。希釈再検して得られた抗体価により、治療効果や病態を知り、治療方針を立てるうえで有益な情報を提供することが可能となります。

何卒、ご了解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

【検査内容の変更について】

検査項目 〔コード〕 案内掲載頁 検査実施施設	変更箇所	新	従来	備考
抗 MDA5 抗体 〔16391〕 P.57 M	報告下限	4 未満	5 未満	単位：Index 試薬添付文書改定により
	報告上限	7,500 以上*	150 以上	

※Index 値 100 を超えた検体について、50 倍で希釈再検して結果をご報告致します。
その他検査要項に変更はございません。

希釈による検査結果の取り扱いについて

希釈倍率により抗体価が異なりますので、治療効果を評価する際には異なる希釈倍率による結果を混合して評価することはできません。結果の取り扱いについてはご注意ください。
(詳細は裏面をご参照下さい。)

《変更日》 2019年1月4日(金)受付分より

一般財団法人東京保健会 病体生理研究所

〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町26-2 電話 03-3956-4101 (代表)

【抗MDA5抗体『検査結果の取り扱いに係る留意事項』について】

◆ 変更後の「測定値」解釈上の留意事項

希釈再検につきましては通常測定（101倍希釈）を実施した結果、測定値がIndex=100以上の検体については、さらに50倍（ $101 \times 50 \rightarrow 5,050$ ）で希釈再検してご報告致します。（試薬添付文書改定により）

今回の検査内容に際し、検査結果の取り扱いについては下記の点をご留意下さい。

通常測定により得られたIndex値に比較して、5,050倍希釈により得られるIndex値は大きく上昇するため、抗体価の変動が正しく反映されません（図1参照）。このため、希釈再検対応前のIndex100~150領域の過去検歴の測定値は、変更後の検査結果と大きく乖離するケースが予想されます。

下記の例1のような場合は特に注意が必要です。

例1.

変更前の測定値（希釈再検未実施）Index=120

変更後の測定値（希釈再検を実施）Index=250

抗体価が上昇したわけでは
ありません。

例2.

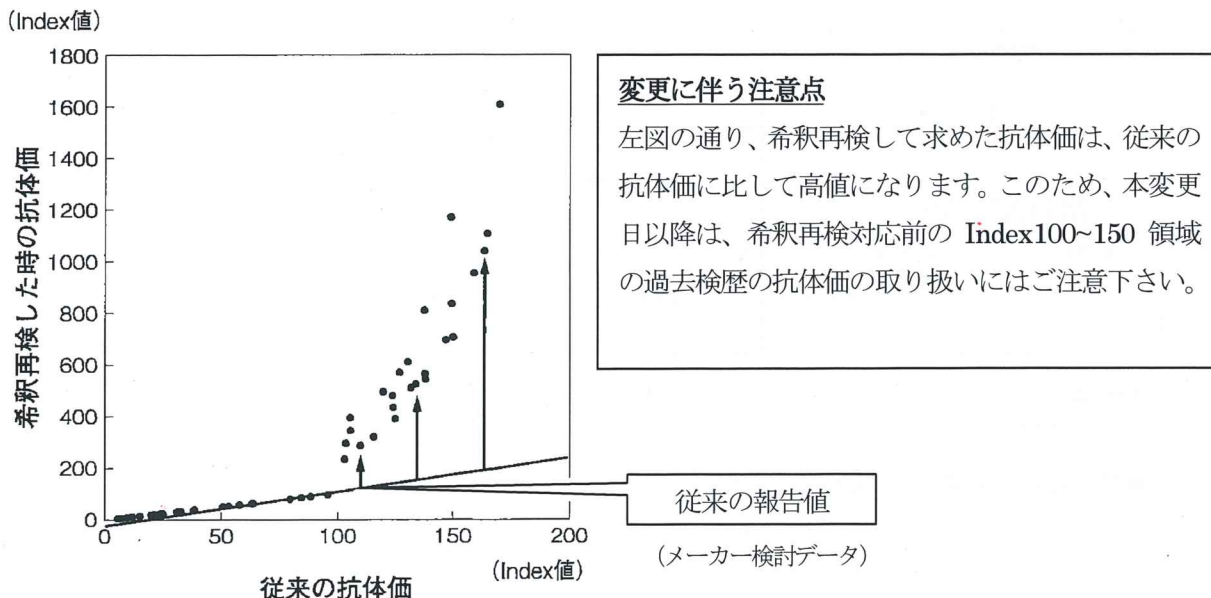
変更前の測定値（希釈再検未実施）Index=80

変更後の測定値（希釈再検を実施）Index=240

抗体価が上昇していますが、
3倍に上昇したわけでは
ありません。

上記のような場合には特に、抗MDA5抗体価は参考程度として、皮疹や呼吸器症状などの臨床症状、CT画像、他の検査などとともに総合的に勘案し、治療効果の判定を行っていただきますようお願い致します。

◆ 測定値相関性



詳細につきましては、試薬販売元（医学生物学研究所）のホームページ『抗MDA抗体・診断への応用とその注意点』をご参照下さい。 <http://ivd.mbl.co.jp/news/20181115-1.html>

以上